

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2022/11/01

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	38.05	0.10
JPY/THB	0.2558	-0.0015
USD/JPY	148.71	1.11
EUR/THB	37.63	-0.17
EUR/USD	0.9882	-0.0083
USD/CNH	7.336	0.069
SGD/THB	26.86	-0.03
AUD/THB	24.34	0.01
USD/INR	82.79	0.31
USD Index	111.53	0.78

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.720	0.027
10Y (THB)	3.264	0.051
5Y (USD)	4.228	0.044
10Y (USD)	4.048	0.035

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,640.7	-4.1
WTI (Oil)	86.53	-1.37
Copper	7,450.0	-100.0

Stock

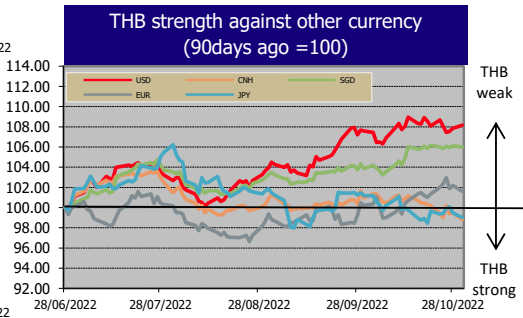
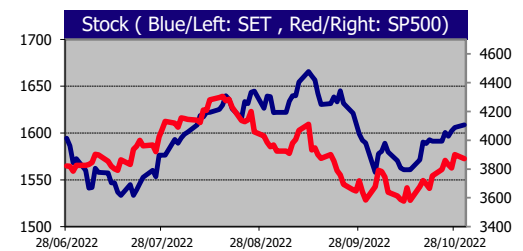
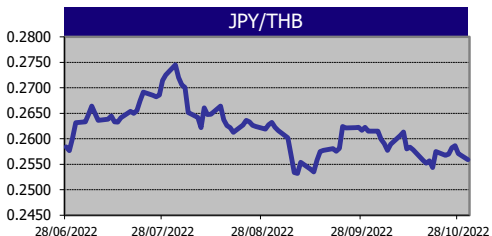
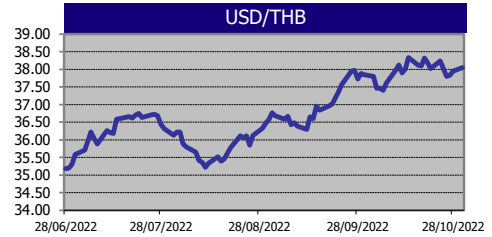
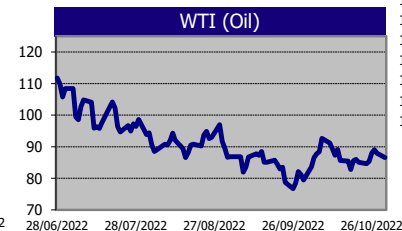
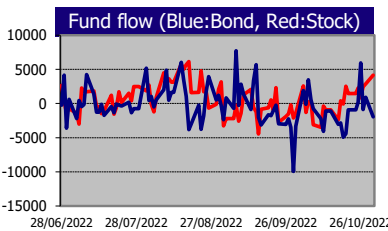
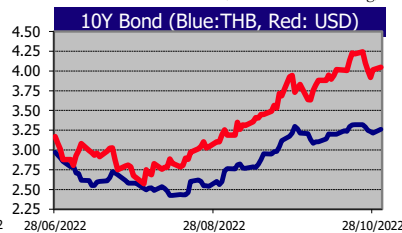
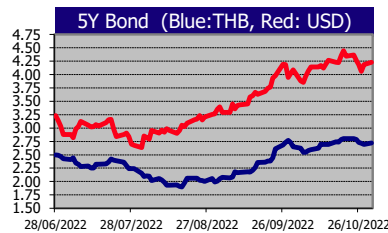
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,608.76	2.69
NIKKEI (JP)	27,587.46	482.26
DOW (US)	32,732.95	-128.85
S&P500 (US)	3,871.98	-29.08
SHCOMP (CN)	2,893.48	-22.44
DAX(GER)	13,253.74	10.41

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	4,165	1284.3
Bond net flow	(1,954)	-2857.5

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパート

・昨日のドルパートは小幅に上昇した。週明けのドルパートは38パートちょうど付近からスタート。米国の利上げペース鈍化懸念が後退し米金利が上昇する中、ドルが幅広く上昇する展開に、ドルパートも序盤から38パート台前半まで上昇。その後、一時下落する場面が見られるも、同日発表された中国の経済指標が軒並み市場予想を下回っていたこともあり、パートの反発も限定的に。海外時間に入り、再度米金利が上昇する展開にドルパートも連れる展開となるも、週半ばにFOMC、週末には米10月雇用統計を控える中、上値追いは限定的となり、結局38.05レベルでクローズした。

●ドル円その他

・昨日のドル円は上昇した。147円台半ばでスタートしたドル円は、米国の利上げペース鈍化懸念が後退する中、序盤から底堅く推移。早々に148円台に乗せると、その後は147円まで反落する場面こそ見せたものの、海外時間には再度148円台を回復し、148円台後半まで上値を伸ばした。ただ、重要イベントを控える中、同水準からさらに上値追いの勢いは見られず、終盤にかけては148円台後半でのレンジ推移となり、148.71レベルでクローズを迎えた。

Bangkok Dealer's Eye

10月も終わり、今年も残すところ2カ月となった。振り返ってみると、年初33パート台前半でスタートしたドルパートは、10月には一時38パート台半ばを示現する等、12%以上の下落幅を見せている。およそ16年ぶりのパート安水準まで下落したドルパートであるが、年初と比べると環境は変わりつつある。10月1日から新型コロナウイルス対策の入国規制を完全撤廃し、1月はおおよそ134千人だった外国人観光客は9月には約1,310千人まで回復。国内の防疫体制も緩和されており、経済活動正常化に大きく舵を切っている。金融政策についても8月から利上げを開始。以降は経済活動を阻害しない範囲で金融引き締めを継続して実施している。

係る中、足もとではドルパートは37パート台半ばから38パート台前半付近での推移が継続しているが、金融政策に関して主要国の動向に変調の兆しが見えつつあり、その動向次第ではパート相場も大きなボラティリティを伴った動きも想定される状況となっている。本日はオーストラリア中銀、3日早朝(バンコク時間)にはFOMCと会合の結果が注目されているが、その内容次第では年初から続いた相場の方向感も大きく変わることも想定される。年末に向けてまだまだ気の抜けない展開は続きそうである。(末廣)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.